

在りし日の街道風景をたどる…

神戸・西国街道まわり道について

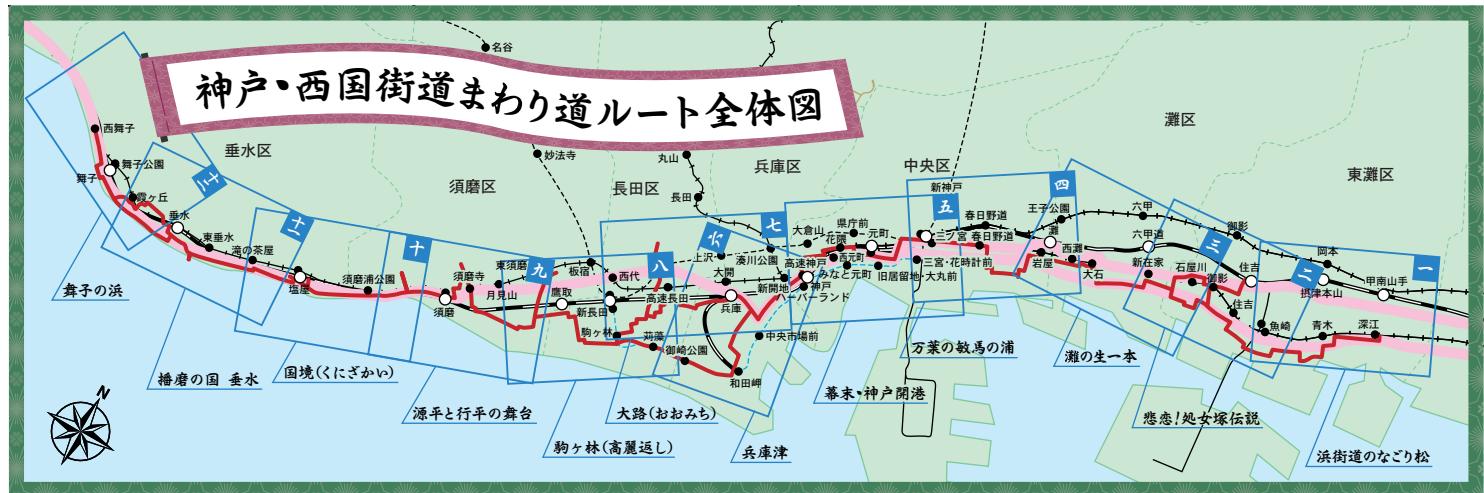
西国街道は、古代には山陽道といわれ、日本の中心であった都と朝鮮半島との玄関口であった九州の大宰府とを結ぶ一番重要な幹線道路として発展してきました。その後、近世には、畿内と西国(九州の小倉)を結ぶ道としてにぎわいを見せていました。

この西国街道は、神戸市内では東灘区から垂水区にかけて東西に通っていました。時代の移り変わりにより、現在では国道2号や国道43号などに街道は姿を変え、戦災や震災などの被害もあり周辺の街なみも大きく変わってしまいましたが、今でも昔の雰囲気を感じさせる街なみが所どころに残っています。

また、街道の道すじ自体は変わってしまったものの、西国街道の周辺には、昔の雰囲気をしるべき神社や仏閣、そして道標(道しるべ)が残っています。江戸時代には、名所旧跡をめぐる旅が一大ブームになったといわれ、このような歴史的遺産を巡ると、昔の旅人たちの姿を彷彿とさせます。

そこで、西国街道の周辺(まわり)にある神社や仏閣などの歴史的遺産を散策(まわり)しながら楽しんでいただくためにこのパンフレットを作りました。
ぜひパンフレットを片手にまちをゆっくりと散策していただき、昔の街道の姿を思い浮かべながら、気軽に楽しんでもらえたら幸いです。

地図凡例	
○1.5	まわり道ルート (区間距離:km)
—	西国街道
神社	神社
寺院	寺院
観光施設	観光施設など
その他の歴史的遺産	その他の歴史的遺産
学校	学校
市役所・区役所	市役所・区役所
警察署	警察署
消防署	消防署
病院	病院



西国街道のルートは、新たな道路整備などによるルートの変更や廃止、拡幅などが行われたため、現在でははっきりしない部分が多くあります。また、文献によっても位置や表現が異なります。したがって、このパンフレットでは様々な文献を参考に、おおよその位置とルートを記載しています。

神社の名称は「神戸の神社(神戸新聞総合出版センター)」に記載された名称に統一し、通称等については()書き、もしくは説明のなかで記述しています。